

# 横山幸次

区政報告  
ニュース

360

2009年9月27日  
発行 日本共産党区議団  
3802-4627  
fax3806-9246  
E-mail: arajcp@tcn-  
catv.ne.jp  
町屋相談室  
荒川区町屋5-3-5  
3895-0504

横山幸次区議のホームページをご覧ください。  
「横山区議」で検索して下さい。

# 義務教育無償の原則実現にむけ 就学援助の拡充など求める



どの子ども安心して学べる環境を  
(写真 大門小学校)

**生活保護の一・四倍の収入で最低生活ライン  
メガネなど学習に必要なものに独自支給を**

横山区議は、質問の中で日本では大学、高校の学費だけでなく、義務教育でも教育関係費の保護者負担が高く、家計を圧迫する大きな要因の一つになっており、憲法の保障する義務教育無償の原則を政治の責任で実現することを求めました。

左下の数字は、公立小中学校に行くためだけの保護者負担です。これ以外に、給食費や塾、習い事、書籍など多額の学校外活動費が必要です。

また荒川区の就学援助は、一・二倍に改善されました

## 公立小中学校・学校教育費私費負担

|       |          |
|-------|----------|
| 公立小学校 | 56,655円  |
| 公立中学校 | 133,183円 |

(文科省「子どもの学習費調査」2006年)  
(注)給食費と学校外活動費は除く

## 墨田区は、メガネ代も支給

学校の事務で申請書を受け記入  
領収書を添付して申請  
20,200円を上限に支給

が、税金、社会保障関係など除くと一・四倍以上ないと最低生活費が確保できません。基準の緩和も急がれます。また、墨田区で実施している「メガネ代」の支給なども検討すべきです。また、府中市では、学校で使う教材教具のほとんどを公費で負担、中央区では、補助教材全額公費、学習材料などへの補助を行っています。荒川区でも実施を検討すべきとただしました。

## 就学援助認定数の推移

|     |     | 2005年度 | 2006年度 | 2007年度 | 2008年度当初 | 2008年度1/29 |
|-----|-----|--------|--------|--------|----------|------------|
| 小学校 | 認定数 | 2,215人 | 2,240人 | 2,208人 | 2,145人   | 2,331人     |
|     | 認定率 | 30,9%  | 30,3%  | 29,4%  | 27,9%    | 30,3%      |
| 中学校 | 認定数 | 999人   | 1,005人 | 1,010人 | 1,048人   | 1,154人     |
|     | 認定率 | 35,0%  | 35,2%  | 34,5%  | 35,5%    | 39,1%      |



## 裏面 議会質問、お知らせなど

## 定例法律相談

10月5日(月)  
午後6時～8時  
横山区議事務所

【定例生活相談会】  
毎週水曜日 午後2時から5時  
会場は、横山区議事務所です。

弁護士と横山区議が相談をお受けします。秘密は厳守します。お急ぎの場合は、北千住法律事務所の相談日などご紹介しますので、お気軽にご連絡ください。  
TEL&FAX 3895-0504  
不在時は、留守電へ、後で連絡します。

「橋本左内と小塚原の仕置場」展が開催されます  
ふるさと文化館に足を運んで歴史を振り返ってみてはいかがでしょうか

荒川区のホームページの最新情報にふるさと文化館の企画展「橋本左内と小塚原の仕置場」の開催(十月三日から十一月八日の九時半から十七時まで)が掲載されてきました。興味があったのでのぞいてみました。ご存じのように、南千住には江戸時代鈴木ヶ森と並んで小塚原の処刑場が置かれていました。特に、江戸末期安政の大獄で橋本左内や吉田松陰らが処刑されたことでも知られています。また、杉田玄白らが解剖を見学、「解体新書」など書いたきつかけにもなった場所でも知られていま



# 37億円 区の補正予算で…!

前号でお知らせした補正予算について、区民生活にとって大事な事業や「問題」のある事業もありますのでお知らせします。

## プレミアム付き「お買い物券」年末にかけて発行へ

今年4月に発行された1万組の「区内共通お買い物券」(10%プレミアム)は完売。今回、荒川区商店街連合会は、同様のお買い物券を追加発行することに。補正予算では、そのプレミアムなどを助成する予算(約1100万円全額国の交付金を見込む)をつけました。発行は、12月の予定です。区内商店街は、たいへんな苦境に立っています。地域のコミュニティーや文化の担い手としての商店街振興は、待ったなしです。



この表示のあるお店で

4月発行のプレミアム付き「お買い物券」は10月15日が有効期限です

### 《お知らせコーナー》

#### 決算特別委員会と今後の議会日程

9月24日決算特別委初日に、各会派の総括質疑が行われました。日本共産党は、安部区議が、教育、保育、介護などで質問を行いました。

9月28日・29日・30日

10時～12時・13時～15時 決算特別委員会

10月2日・5・6・7日

10時～15時・13時～15時 決算特別委員会

9日 10時～ 幹事長会・議運委員会

14日 13時～ 本会議

#### 区営高齢者住宅「空き待ち登録」募集

単身用10世帯、2人世帯用 3世帯

申し込み 9月28日～30日

9時から17時

区役所3階304会議室

南千住2丁目・町屋7丁目など5カ所あり、空き室が出たら登録期間中に(11月6日から一年間)順次入居に。

## 補正予算で町会などに加え 全小中学校に新型軽可搬ポンプ配置



補正予算の一つの「目玉」として、新型軽可搬ポンプ(D級)の全小中学校配置です。これも前自公政権の「補正予算」地域活性化・公共設備臨時交付金を当てにしたものです。問題は、この軽可搬ポンプが実際の火災に役立つかどうかです。すでに配置されているD級ポンプは、使いづらく、故障したまま使えないものも少なくありません。そのため、大型消火器を配置したこともありまして、しかも今回は、全小中学校で配置です。町会が管理するとしてもいいですが、過去の教訓が生かされるのか、検証が必要ではないでしょうか。

「使いづらい」「メンテは」など  
旧型ポンプ配置の教訓は?

### 今回の補正予算を考える… 「国のお金だから」で良いのでしょうか?

今回の補正予算は「玉石混淆」というか、どうも諸手で賛成とはいきません。「地デジ付き電子黒板」の全普通教室配置などほんとうに必要なのでしょうか。新政権の補正予算見直しで文部科学省は、「地デジテレビ、電子黒板」「太陽光発電パネル」など見直し対象に。あらためて検討が必要です。同時に、町屋ふれあい館用地、福祉作業所整備(旧3丁目ひろば館)など地域や障害者福祉にとって必要なもの多くあります。

国の金とは行っても、出所は私たちの税金です。国でも地方でも税金の使われ方が問われる「補正予算」です。

### みなさんのご意見をお寄せ下さい!

#### 雇用からくらし、福祉… お気軽にご相談ください

雇用不安、中小企業の単価切り下げや資金繰り悪化など深刻な事態が広がっています。医療、介護も深刻です。日本共産党区議団・横山区議は、法律等の専門家、医療・福祉関係者とも連携して相談活動を行っています。

電話 3895-0504 (横山事務所)  
不在時は留守電に…(必ずご連絡先を)